

## (2) 産学官交流事業

財団では、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下、「奈良先端大」と記します。）で生まれた革新的な科学技術等を産業界で積極的に活用していただくために、奈良先端大の研究成果や技術シーズの実用化に向けた取り組みを支援する「奈良先端大発 新産業創出支援事業」を平成 16 年度に立ち上げ、令和 5 年度も引き続き実施しました。

また、奈良先端大で生まれた先端的な研究成果、技術シーズ等を産業界に向けて発信する場、および奈良先端大と産業界との交流を図る場として「奈良先端大産学連携フォーラム」を開催しました。

### 奈良先端大発 新産業創出支援事業

地元の中小企業・ベンチャー企業等が、奈良先端大と連携して、奈良先端大で生まれた研究成果や技術シーズの実用化に向けた研究開発に取り組む場合に、その費用の一部を支援するものです。

支援期間は原則として 1 年間（年度単位）、支援額は 1 件当たり最大 100 万円／年です。（連続 2 回、最大 2 年間）

令和 5 年度は下記の 2 件のテーマを支援しました。

『ソフトウェアのコードレビュー支援を対象とした機械学習モデルの応用手法』

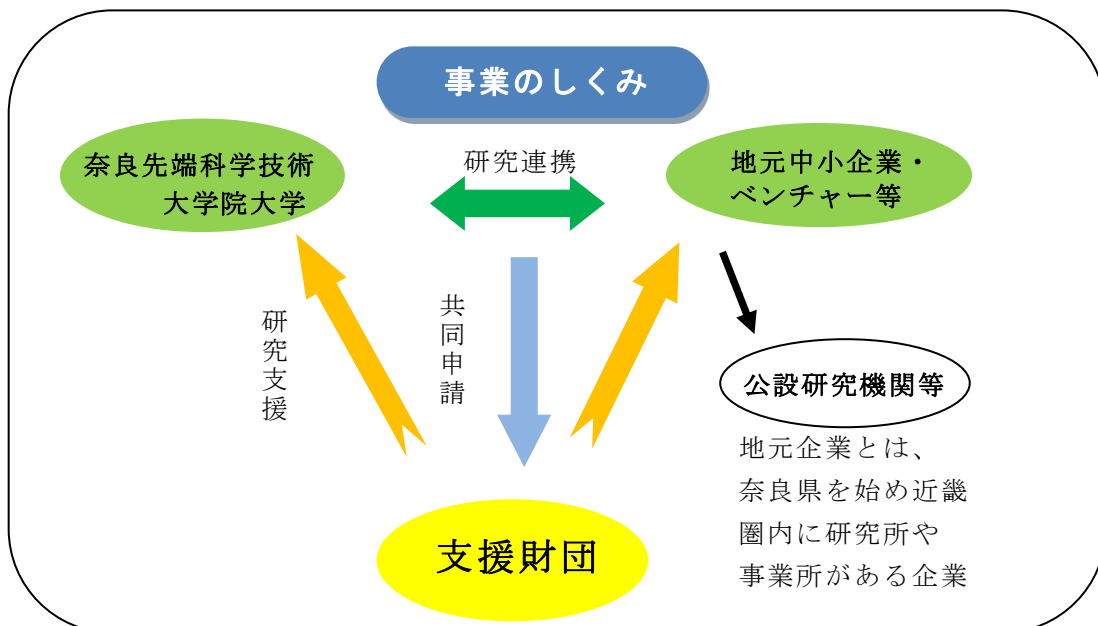
情報科学領域 教授 飯田 元

（株）EASE 創研

『機能性アミノ酸高生産酵母の育種技術を活用したクラフトビールのブランド化』

研究推進機構 特任教授 高木 博史

テンフィールドズファクトリー（株）



## (成果報告会)

令和4年度に「奈良先端大発 新産業創出支援事業」で支援した研究開発の成果報告会を令和5年3月22日に開催しました。

### 【新産業創出支援研究成果報告(令和4年度)】

- 「奈良オリジナル酵母を用いたクラフトビールの高付加価値化とブランド化」  
バイオサイエンス領域 教授 高木 博史  
ゴールデンラビットビール
- 「プログラミング初心者が抱える質問に応じた解答事例の自動推薦システムの研究」  
情報科学領域 准教授 石尾 隆  
(株) dTosh

## 奈良先端大産学連携フォーラム

奈良先端大で生まれた先端的な研究や独創的な研究の成果を紹介するとともに、奈良先端大の研究者と産業界の研究者・技術者の交流の場を提供することを目的として、奈良先端大、(公社)関西経済連合会、当財団の共催でフォーラムを開催しています。

令和5年度は、7月20日(木)、中之島センタービル29階会議室で開催し、34名の参加がありました。

(テーマ)

「未来社会への提案 vol.3

～医療・健康からのアプローチ～

(学外講師講演)

「MBT：医工連携の新たな形

～科学技術最前線40年から見える世界～

奈良県立医科大学 MBT 研究所副所長

MBT 担当教授 細川 洋治

(研究紹介講演)

「医用画像から骨と筋肉の健康状態を精密計測するAIの開発」

奈良先端科学技術大学院大学

情報科学領域 生体医用画像研究室

教授 佐藤 嘉伸

「光・AI・バイオ技術が融合した  
Photoceutical 医工連携」

奈良先端科学技術大学院大学

物質創成科学領域 生体プロセス工学研究室

教授 細川 陽一郎